

中学校 総合的な学習の時間

※以下「総合」と記載

1 改訂の趣旨及び要点

目標の改善

探究的な見方・考え方を働かせ(=探究的な学習過程を「総合」の本質と捉え、中心に据えること)、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、**自己の生き方を考えていくための資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能の習得

探究的な学習の過程において、**課題の解決に必要な知識及び技能**を身に付け、**課題に関わる概念**を形成し、**探究的な学習のよさ**を理解するようにする。

思考力・判断力・表現力等の育成

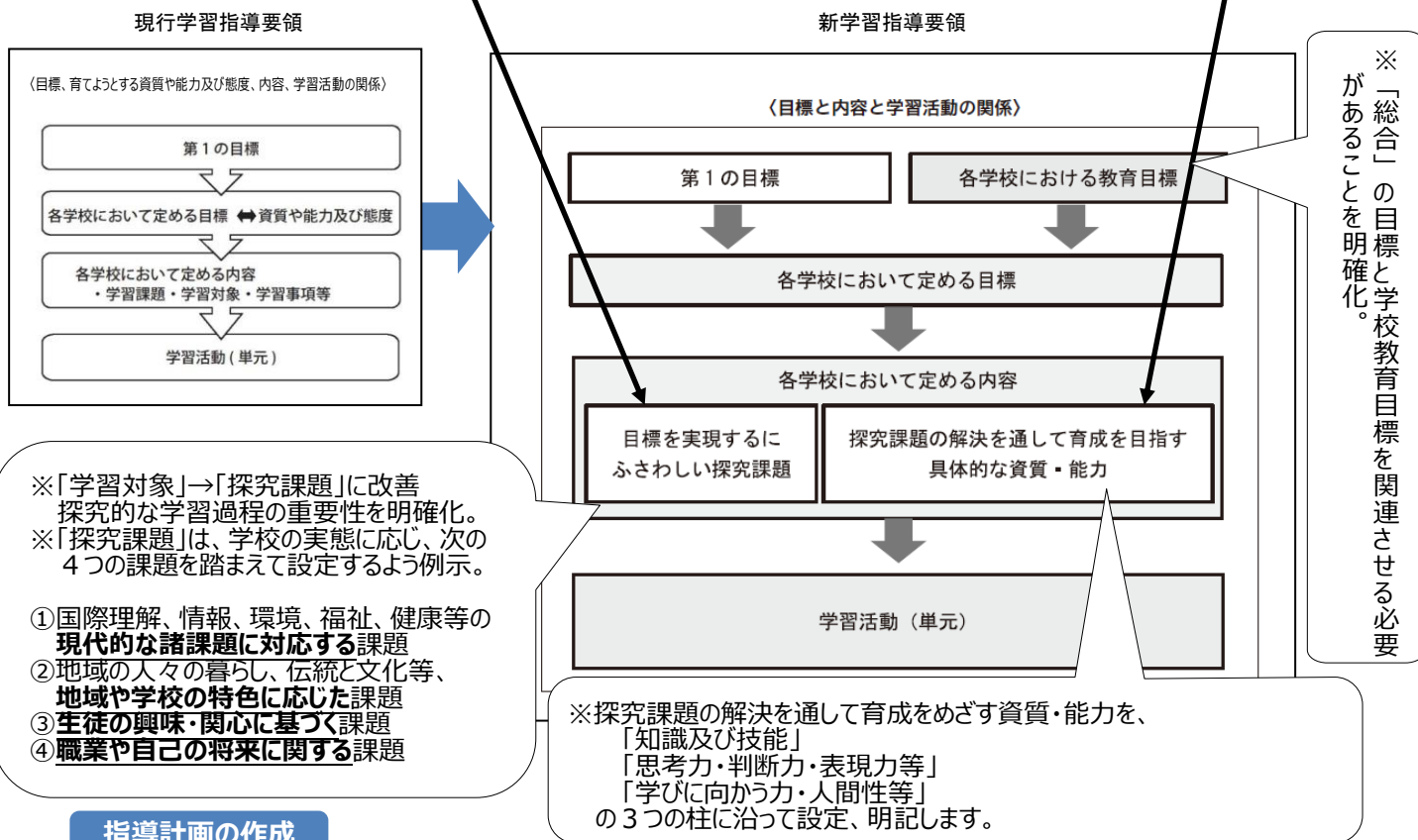
実生活や実社会の中から**問いを見いだし**、自分で**課題を立て**、**情報を集め**、**整理・分析**して、**まとめ・表現**することができるようにする。

学びに向かう力・人間性等の涵養

探究的な学習に**主体的・協働的に取り組む**とともに、互いのよさを生かしながら、**積極的に社会に参画しようとする態度**を養う。

内容構成の改善

各学校は、「総合」の**目標を実現するにふさわしい探究課題**とともに、**探究課題の解決を通して育成をめざす具体的な資質・能力**を設定します。



指導計画の作成

改善された目標、内容構成を踏まえ、「全体計画」、及び「年間指導計画」を各校で作成する必要があります。

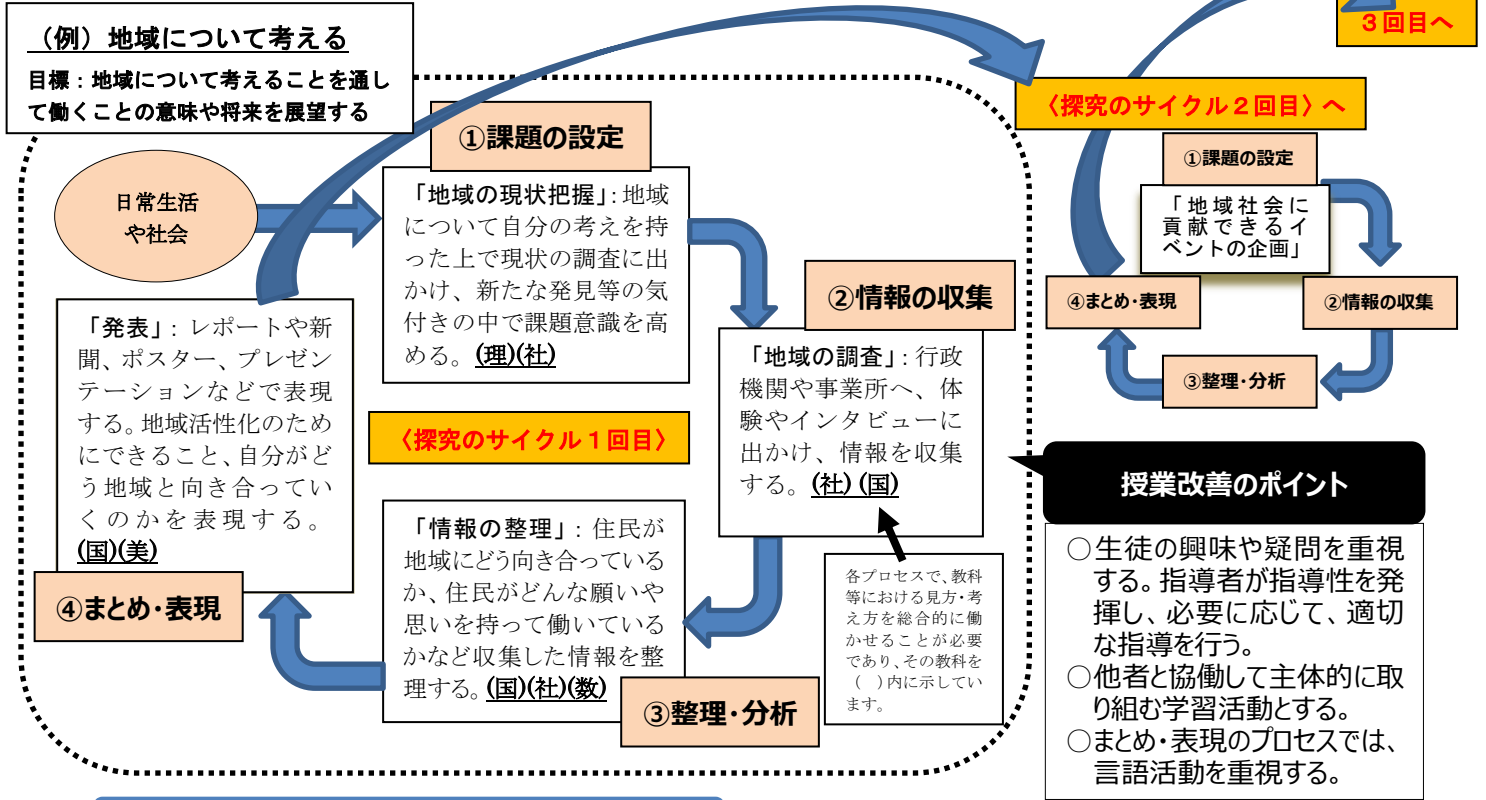
「全体計画」…学校として、「総合」の教育目標や、基本的な考え方などを示したもの

「年間指導計画」…「全体計画」を単元として具体化し、1年間の流れの中に配列したもの

2 中学校「総合」における授業づくりのポイント

探究的な学習となる単元構想

「①課題の設定」→「②情報の収集」→「③整理・分析」→「④まとめ・表現」の探究的な学習の過程（探究のプロセス）が示されており、図のように学習活動を発展的に繰り返していくことが大切です。



主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善の重視は、探究的な学習の過程を一層質的に高めていくことです。

- 【主体的な学びの視点】「①課題の設定」生徒が自分事として学びを進められるよう**実社会や実生活の問題をとりあげます**。「④まとめ・表現」において**文章やレポートに書き表したり、口頭で報告したり**します。
- 【対話的な学びの視点】「④まとめ・表現」において、身につけた知識や技能を使って**相手に説明したり**、他者からの多様な**情報を収集したり**、情報を可視化・操作化したりしながら、他者とともに課題解決に向けて活動する場を設定します。
- 【深い学びの視点】「②情報の収集」「③整理・分析」「④まとめ・表現」において、各教科等で身につけた資質・能力をどのように活用するか、生徒が考える場面を設定します。

「考えるための技法」の活用

各教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力を育成するため、探究的な学習の過程の中で活用する「考えるための技法」が10種類示されています。

順序付ける	対象を、多い順や、重要度の高い順等、ある視点や条件に沿って並び替える。
比較する	複数の対象の共通点や相違点を明らかにする。
分類する	複数の対象について、共通点のあるものどうしをまとめる。
関連付ける	複数の対象がどのような関係にあるかを見つける。
多面的・多角的に見る	対象の持つ複数の性質に着目する。対象を異なる角度から捉える。
理由付ける	理由や原因、根拠を見つけたり、予想したりする。
見通す	結果を予想したり、その結果による次の展開を想定したりする。
具体化する	抽象化、一般化された対象の具体例を挙げる。
抽象化する	複数の具体例を一般化したり、統合したりする。
構造化する	全体を把握し、構成要素の関係を分かりやすく整理する。

上記「地域について考える」では、たとえば③「整理・分析」の過程において「比較」「分類」「序列化」「関連付け」等により情報の整理を行います。